

3年「 修学旅行都内分散 」カリキュラム（10 時間完了）

時数	「○」：学習の流れ 「・」：留意点があれば箇条書きする。	資料 ワークシート
1 2	課題の設定 ○ 修学旅行についてのオリエンテーションにて、都内分散を行うことについて発表する ○ それを基に、学級で希望する都内分散のエリアを決める。決定した後に 関心のある場所についての歴史や特徴、見所などについて、調べるために、都内分散を行う際のルールの資料を確認して、インターネットで調べ学習を行う。	資料①
3～6 7	課題の追究（情報の収集・整理・分析） ○ 資料②をもとに、今回の修学旅行の都内分散についての「ねらい」を提示する。 調べ学習をする際の注意事項を伝えた上で、関心のある場所についての歴史や特徴だけではなく、利用者数や売り上げなど、マーケティングについても意識をしながら調べるように指示し、学級の分散班ごとに学習を行う。 ○ 現地で、調べたことについて訪問調査をする。	資料② シート① シート①-2
8～10	課題の追究（まとめ・発表） ○ 現地で見て調べてきたことについて、個別にまとめる。 ○ 保護者会の際に、廊下にまとめを掲示する。	シート③

「 修学旅行都内分散 」の活動のねらい

修学旅行の都内分散の事前調べや当日の活動を行う上で、生徒に以下の3点のことを考えたり学んだりするきっかけを与えることをねらいとする。活動を行う中で、人間形成能力や社会形成能力を培う力を育ませる。

- ① 修学旅行の都内分散の学習の中で、班行動での決定とその内容を遵守すること、またその班の中で「自分」ができることは何かを考えること。
- ② 「マーケティング目線」で事前調べを行い、当日限られた時間内でのタイムマネジメントを実行しながら現地のマーケティング戦略を体感することを学ぶこと。
- ③ 振り返りを行う中で、班の中での担当資料作成およびチームで発表することでチームマネジメントを学ぶこと。